SONY

4-286-706-**02**(1)

デジタルハイビジョンチューナー内蔵
ハードディスク搭載

ブルーレイディスク/ DVDレコーダー

追加機能　取扱説明書

本書では、デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載ブルーレイディスク/DVDレコーダー BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500 / AT300Sのバージョンアップの内容、およびバージョンアップ後の操作方法について説明しています。
本書は、本機の取扱説明書とともに、いつでも見ることができるところに保管してください。

追加される新機能

- ブルーレイディスク(BD)に記録した番組をハードディスクに移動する(ムーブバック)
- 3D放送番組を自動で3D表示に切り換える
- デジタルビデオカメラで記録した3D映像をブルーレイディスク(BD)にダビングする
- CATV(ケーブルテレビ)チューナー *[1]からLANケーブルを利用して本機へ録画する*[2]

*[1] セットトップボックス(STB)と呼ばれることもあります。
*[2] 対象機種:BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

お知らせ

このソフトウェアのバージョンアップに伴い、下記の設定名が変わります。

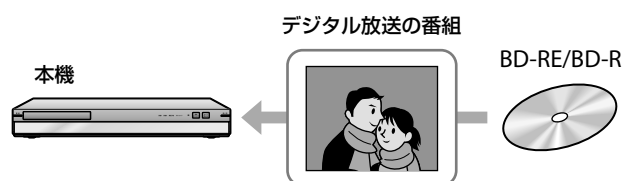
「 BD-ROM 3D出力」(旧)　→　「3D出力」(新)

この設定名は、本機の取扱説明書の下記3か所に記載されています。

- 32ページ　「Blu-ray 3Dを楽しむ」　4行目
- 82ページ　「BD-ROM　3D出力」
- 107ページ　「映像音声およびHDMI機器制御の設定について」　5行目

本書では、BDZ-AT900 / BDZ-AT700 / BDZ-AT500のイラストを使用しています。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。

BDZ-AX2000 / BDZ-AX1000 / BDZ-AT900 / BDZ-AT700 / BDZ-AT500 / BDZ-AT300S

BDに記録した番組をハードディスクに移動する（ムーブバック）

BD-RE/BD-Rに記録されたデジタル放送の番組（タイトル）を、本機のハードディスクに移動できます（ムーブバック）。
ムーブバックしたデジタル放送のタイトルは、BDから削除されます。

1 BDを本機に挿入する。

2 本機のリモコンの ホーム（ホーム）を押す。

3 ←→で（ビデオ）を選択後、↑↓で[ディスクダビング]を選んで 決定（決定）を押す。

4 ↑↓で[BD/DVD→HDDダビング]を選択後 決定（決定）を押し、↑↓でムーブバックするタイトルを選んで 決定（決定）を押す。

選んだ順に番号が付きます。

1 **タイトル**
ムーブバックするタイトルを30個まで選べます。
マークの付いたタイトルがムーブバックの対象です。

2 **全選択**
選択可能なタイトルを、リストの上から順に30個まで選びます。

5 ↑↓←→で[実行]を選んで 決定（決定）を押す。
タイトルをムーブバックしてよいかを確認する画面が表示されます。[はい]を選んで 決定（決定）を押します。

ムーブバックを中止するには

[停止]を選んで 決定（決定）を押し、[はい]を選んで 決定（決定）を押します。

ご注意

- 以下の場合は、ムーブバックできません。
  - ハードディスクにムーブバックするタイトル以上の空き容量が無い場合。
  - BDクローズされたディスクなど、追記できない状態の場合。
  - DVDに記録されたデジタル放送のタイトル。
- BD-Rの場合、ムーブバックしても空き容量は増えません。
- ムーブバックされたタイトルはコピーワンスになります。
- ムーブバックはタイトル毎に行われるため、途中で中止した場合、ムーブバックが終了したタイトルはハードディスクに移動し、途中で中止したタイトル以降はBDに残ります。
- ビデオカメラから取り込んだタイトルやアナログ放送を記録したタイトルなどコピー禁止の表示がないタイトルは、本機能に関係なくコピー可能で、BDにも残ります。

3D放送番組を自動で3D表示に切り換える

放送局側で3D信号が付けられた映像は、視聴時や録画したタイトルの再生時、自動的に3D表示に切り換わり、画面上に3Dアイコンが表示されます。

3D 3Dタイトル再生中／3D番組視聴中

3D タイトルリスト

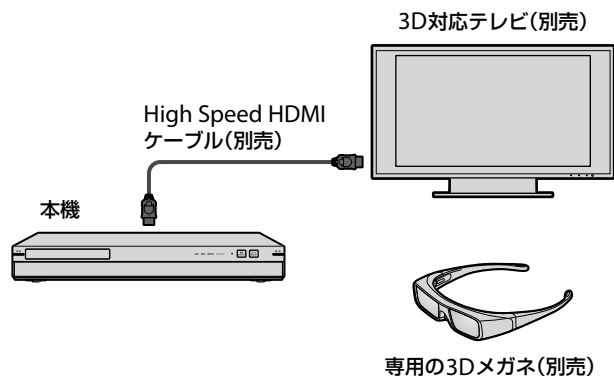
3Dでの視聴や再生について よくあるお問い合わせ

Q

3Dでの視聴や再生をするには何が必要ですか？／3Dに見えないのですが？

A

本機では、3D番組の視聴のほかに、録画した3Dタイトルの再生、および3D対応のBD-ROMソフト（Blu-ray 3D）など3Dディスクの再生に対応しています。
3Dでの視聴や再生をする前に、以下の項目をご確認ください。

❑ 必要な機器と接続ケーブル

3D視聴に必要な機器は、お使いの3D対応テレビの取扱説明書をご確認ください。

ご注意

- 本機と3D対応テレビの間に、ホームシアターシステムやAVアンプなどを接続している場合、それらの機器も3D対応している必要があります。
  対応していない機器と接続している場合は、本機と3D対応テレビをHDMIケーブルで接続し、テレビの光デジタル出力からホームシアターやAVアンプなどに接続してください。BDZ-AX2000 / AX1000をお使いの場合、HDMI AV独立ピュア出力機能を使用する接続もできます。
- 本機と3D対応テレビは、必ずHigh Speed HDMIケーブルで接続してください。それ以外のケーブルで接続した場合、3Dでの視聴や再生はできません。
- 3Dメガネは視聴される人数分必要です。
- ダビング時にモードを変更した3Dタイトルは、再生時に自動的に3D表示に切り換わりません。テレビ側で3D表示への切り換え操作を行ってください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書などをご覧ください。

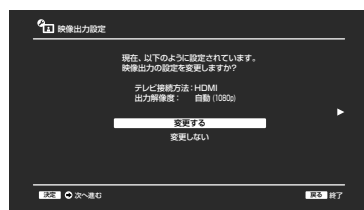
❑ 本機の設定

3Dのコンテンツを楽しむには、本機で以下の設定をします。

1 本機のリモコンの ホーム （ホーム）を押す。

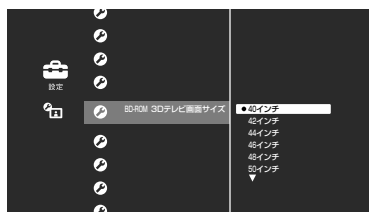
2 ←→で （設定）を選択後、↑↓で （映像設定）を選んで 決定 （決定）を押す。

3 ↑↓で［映像出力設定］を選択後 決定 （決定）を押し、テレビ接続方法が［HDMI］になっていることを確認する。

［HDMI］以外の場合は、HDMIケーブルで接続されていることを確認し、［変更する］を選択後 決定 （決定）を押します。［HDMI］を選んで 決定 （決定）を押し、［自動］を選んで 決定 （決定）を押します。
数秒後に「映像は正しく表示されていますか？」と表示されるので、［はい］を選んで 決定 （決定）を押します。［終了］が表示されたら 決定 （決定）を押してください。

4 ↑↓で［3D出力］を選択後 決定 （決定）を押し、↑↓で［自動］を選んで 決定 （決定）を押す。

お買い上げ時の設定は［自動］です。

5 ↑↓で[BD-ROM 3Dテレビ画面サイズ]を選択後 (決定)を押し、↑↓で3D対応テレビの画面サイズを選んで (決定)を押す。

お買い上げ時の設定は[40インチ]です。

6 (戻る)をくり返し押し、視聴画面に戻る。

❑ <ブラビア>の設定

自動的にテレビが3D表示に切り換わらない場合は、テレビの操作をしてください。

1 <ブラビア>付属のリモコンの 3D (3D)をくり返し押す。

3D表示に切り換わるまで、くり返し押します。
3D視聴が終わったら、3D (3D)をくり返し押して2D表示に戻してください。

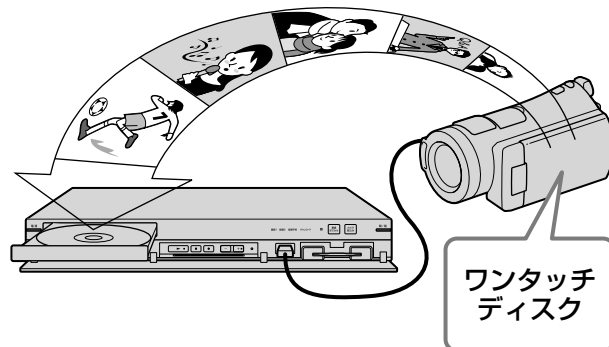
詳しくは、お使いの<ブラビア>の取扱説明書などをご覧ください。

❑ <ブラビア>以外のテレビの設定

お使いの3D対応テレビの取扱説明書などをご覧ください。

❑ 3Dでの視聴や再生

3Dコンテンツを再生し、3Dメガネの電源を入れ、装着してください。
3Dメガネの使いかたについては、お使いの3D対応テレビの取扱説明書や3Dメガネの取扱説明書をご覧ください。

デジタルビデオカメラで記録した3D映像をBDにダビングする

ワンタッチディスクダビング機能のあるソニー製デジタルハイビジョンビデオカメラ内の3D映像をBDにダビングできます。BDにダビングした映像(タイトル)は本機で再生したり、編集したりできます。対応機器については、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

ワンタッチディスクダビングをする

本機の取扱説明書の「ワンタッチでデジタルカメラからBDを作る」をご覧ください。

ご注意

- デジタルビデオカメラの3D映像をハードディスクに取り込むことはできません。
- 本機の カメラ取込み (カメラ取り込み)ボタン、AVCHDダビング機能、BD→HDDダビング機能は使えません。

ダビングしたタイトルを見る

3Dディスクの再生については、取扱説明書の「録画した番組や映像、ディスクを再生する」をご覧ください。
3D映像の視聴については、本書の「3D放送番組を自動で3D表示に切り換える」をご覧ください。
本機能で作成したディスクは2011年4月現在、下記のモデルのみ再生可能です。
BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500 / AT300S
本機以外での再生については、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

裏面へつづく →

CATVチューナーからLANケーブルを利用して本機へ録画する

対象機種：BDZ-AX2000 / AX1000 / AT900 / AT700 / AT500

ホームネットワーク録画機能に対応したCATVチューナーと本機をLANケーブルでつなぐと、CATVチューナーの番組表から直接本機に録画予約できます。映像／音声ケーブルの接続による録画と比べて、デジタル放送をそのままの画質（高画質）で録画できます。

本機能はご加入のケーブルテレビ局でサービスを提供している場合にご利用いただけます。
対応機種などについて詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ、または下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

準備する

必ず下記の順番で設定してください。

1. CATVチューナーとそのソフトウェアバージョンが対応しているかを確認する。
2. LANケーブルでつなぐ。
3. 本機の設定をする。
4. CATVチューナーの設定をする。

1 CATVチューナーとそのソフトウェアバージョンが対応しているかを確認する

確認方法について詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ、または下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

2 LANケーブルでつなぐ

接続方法は2種類あります。

接続方法Ⓐ

CATVチューナーからの録画機能のみを利用する場合は、本機とCATVチューナーを直接つなぎます。

接続方法Ⓑ

CATVチューナーからの録画機能に加え、**本機の他のネットワーク機能*も利用する場合**は、本機とCATVチューナーをブロードバンドルーター（ルーター）につなぎます。

* 本機の他のネットワーク機能
- スカパー！ HD録画
- アクトビラやTSUTAYA TVなどのインターネットサービス
- パソコンや携帯電話を使ったリモート録画予約
- ルームリンク（ホームネットワーク）　など

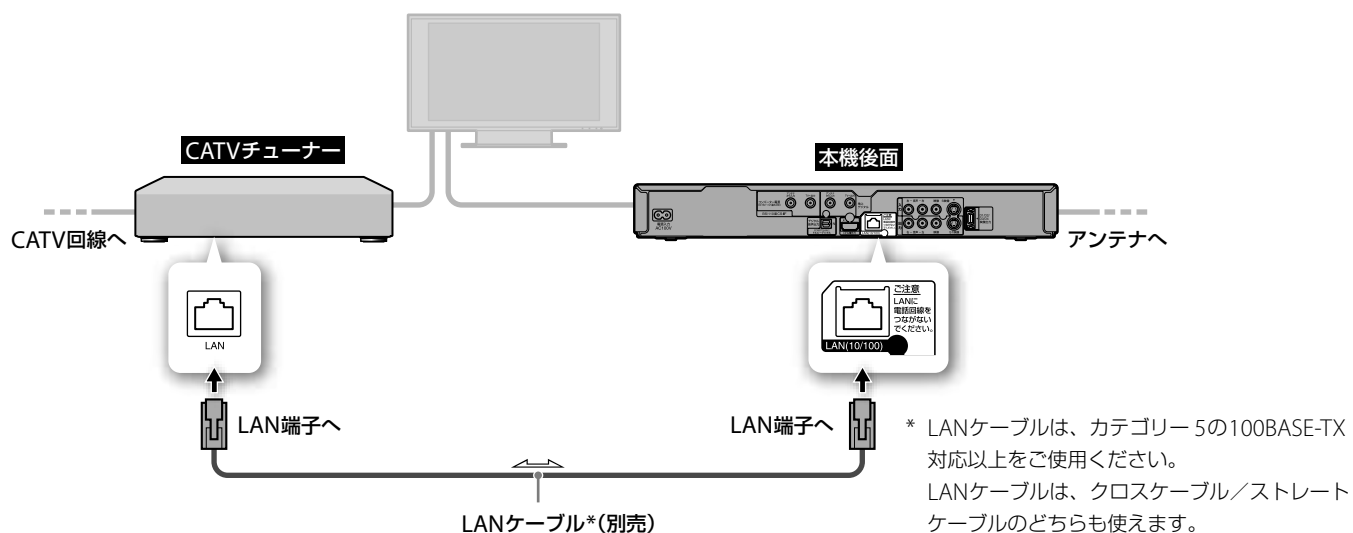
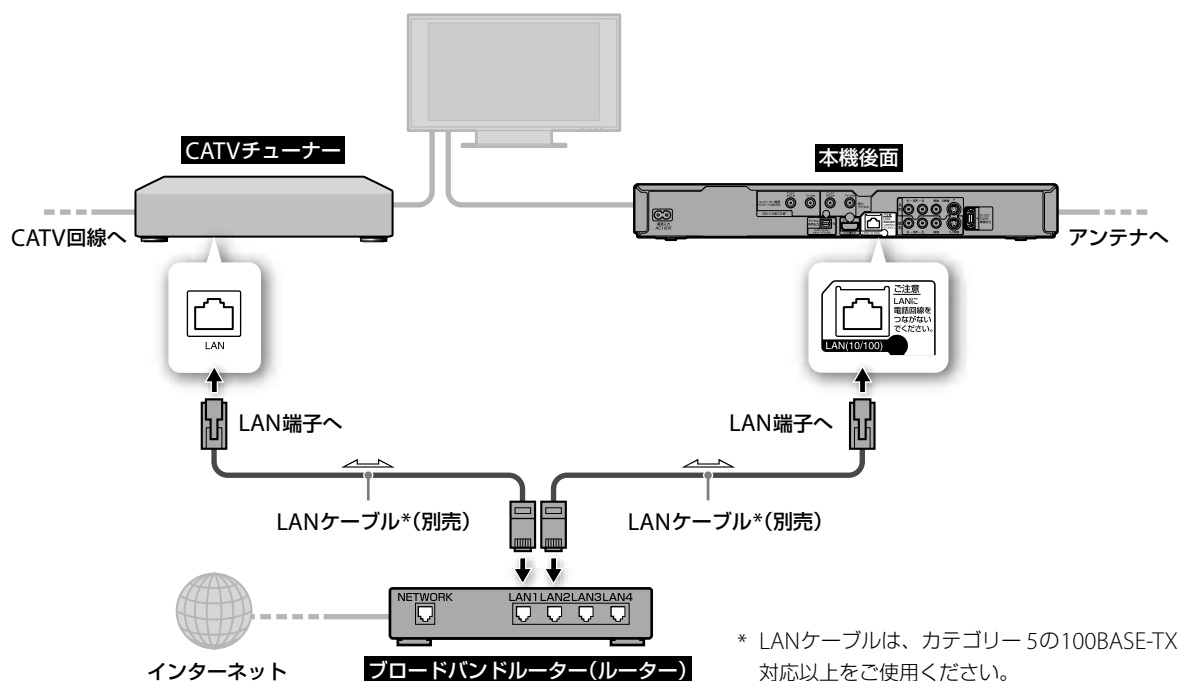
接続方法Ⓐ

CATVチューナーからの録画機能のみを利用する場合

* LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をご使用ください。
LANケーブルは、クロスケーブル／ストレートケーブルのどちらも使えます。

接続方法Ⓑ

本機の他のネットワーク機能も利用する場合

* LANケーブルは、カテゴリー 5の100BASE-TX対応以上をご使用ください。

3 本機の設定をする

本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換え、設定してください。設定の手順は接続方法によって異なります。

接続方法Ⓐ を選んだ場合 3-2 を行います。

接続方法Ⓑ を選んだ場合 3-1 と 3-2 を行います。

3-1 ネットワークにつながっているか確認する

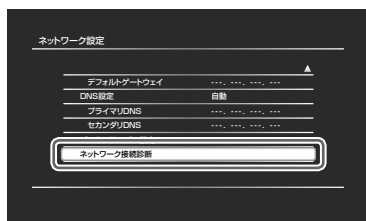
1 接続方法Ⓐを選んだ場合は、「**3-2** ホームサーバーの設定をする」へ進む。

2 本機のリモコンの ホーム （ホーム）を押す。

3 ←→で （設定）を選択後、↑↓で （通信設定）を選んで 決定 （決定）を押す。

4 ↑↓で［ネットワーク設定］を選んで 決定 （決定）を押す。

「設定中はネットワーク機能を使用できません。よろしいですか？」と表示されるので［はい］を選びます。

5 ↑↓で［ネットワーク接続診断］を選択後 決定 （決定）を押し、←→で［はい］を選んで 決定 （決定）を押す。

6 「ネットワークは正しく接続されています」と表示されていることを確認し、決定 （決定）を押す。

「ネットワークは正しく接続されています」と表示されない場合は、画面のメッセージに従ってください。

7 （戻る）をくり返し押し、視聴画面に戻る。

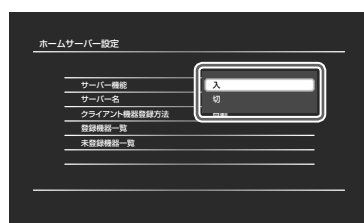
3-2 ホームサーバーの設定をする

1 本機のリモコンの ホーム （ホーム）を押す。

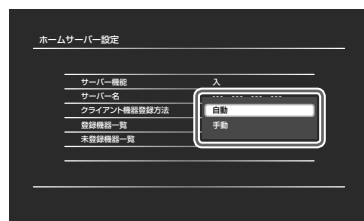
2 ←→で （設定）を選択後、↑↓で ［通信設定］を選んで 決定 （決定）を押す。

3 ↑↓で［ホームサーバー設定］を選んで 決定 （決定）を押す。

4 ↑↓で［サーバー機能］を選択後 決定 （決定）を押し、↑↓で［入］を選んで 決定 （決定）を押す。

警告文が表示されたら内容を読み、［変更する］を選びます。

スタンバイモードを［低消費待機］に設定していた場合、サーバー機能を［入］にすると、「スタンバイモードを「標準」に設定しますか」の確認画面が表示されるので、［はい］を選びます。

5 ↑↓で［クライアント機器登録方法］を選択後 決定 （決定）を押し、↑↓で［自動］を選んで 決定 （決定）を押す。

警告文が表示されたら内容を読み、［変更する］を選びます。

6 （戻る）をくり返し押し、視聴画面に戻る。

ご注意

- 本機のネットワーク設定について
  ホームボタン>[設定]>[通信設定]>[ネットワーク設定]の[IPアドレス設定]は、ルーターを利用しないで接続する(LANケーブルで直接接続する)場合、必ず[自動取得]を指定してください。ルーターを利用して接続する場合も、通常は[自動取得]を指定します。
  [IPアドレス]の欄の数字が、ルーターを利用する場合は通常「192.168.xxx.xxx」になります。この数字にならない場合は、数分間時間をおくか[IPアドレス設定]を1度[手動]にして、再び[自動取得]を選んで取得されるかおためしください。この操作で通常正しいIPアドレスを取得できることがあります。
  設定に関して不明点がある場合は、ご利用のインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

以上で本機の設定は終了です。

4 CATVチューナーの設定をする

設定方法について詳しくは、CATVチューナーの取扱説明書やご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ、または下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/bd/

録画予約する

録画予約はCATVチューナーで行います。本機での予約操作は不要です。

1. CATVチューナーおよび本機の電源を入れる。
2. テレビの画面を、CATVチューナーをつないだ入力に切り換える。
3. CATVチューナーから、録画予約の操作をする。
   詳しくはCATVチューナーの取扱説明書、またはご加入のケーブルテレビ局からのお知らせをご覧ください。

ご注意

- 本機への録画モードはDRのみです。
- おでかけ転送用動画ファイルは同時に作成されません。転送には再生時間とほぼ同じ時間がかかり、高速転送はできません。

予約を確認する

予約の確認は、CATVチューナーまたは本機のどちらからでもできます。詳しくはCATVチューナーや本機の取扱説明書、またはご加入のケーブルテレビ局からのお知らせをご覧ください。

予約を削除する

予約を削除する場合は、本機の電源を入れてからCATVチューナー側で操作をしてください。詳しくはCATVチューナーの取扱説明書、またはご加入のケーブルテレビ局からのお知らせをご覧ください。

録画した番組を再生する

録画した番組の再生については、本機の取扱説明書の「録画した番組や映像、ディスクを再生する」をご覧ください。

CATVチューナーからでも録画した番組の再生ができます。詳しくはCATVチューナーの取扱説明書、またはご加入のケーブルテレビ局からのお知らせをご覧ください。

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

© 2011 Sony Corporation Printed in Japan